

環境科学院 地球圏科学専攻
修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】平成30年2月8日(木)

●座長:久保川 厚(大気海洋物理学・気候力学コース教授)

9:30- 9:50 高橋 祐輔(大気海洋物理学・気候力学コース)

「オホーツク海の海水面積変動が大気・海洋に及ぼす影響」

9:50-10:10 東 弓弦(大気海洋物理学・気候力学コース)

「ブラジル／マルビナス海流の合流とその分岐による南大洋のフロント形成機構」

10:10-10:30 築場 大将(雪氷・寒冷圏科学コース)

「融雪期における土壌乾湿状態の変動と河川流出への寄与」

< 20 分 休 憩 >

●座長:亀山 宗彦(大気海洋化学・環境変遷学コース准教授)

10:50-11:10 三浦 直人(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「中期完新世における別府湾古水温の数十年変動の復元」

11:10-11:30 河村 貴帆(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「夏季の西部北太平洋亜熱帯域表層における溶存有機物の動態」

11:30-11:50 平沢 雅弘(大気海洋物理学・気候力学コース)

「日本海を通過する寒冷前線の多重構造とその形成メカニズム」

11:50-12:10 山下 真莉奈(大気海洋物理学・気候力学コース)

「平成27年9月関東・東北豪雨における地形の効果」

< お 昼 休 み 12:10-13:30 >

●座長: 下山 宏(雪氷・寒冷圏科学コース助教)

- 13:30-13:50 鈴木 まりな(大気海洋物理学・気候力学コース)
「気候-植生相互作用を考慮した過去と将来の北極温暖化メカニズムの比較」
- 13:50-14:10 山本 淳博(雪氷・寒冷圏科学コース)
「南パタゴニア氷原グレイ氷河における近年の末端変動とそのメカニズム」
- 14:10-14:30 森 敦紀(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「東シベリアヤクーツク周辺の河川・湖沼における水同位体比と水質の解析」
- 14:30-14:50 小寺 沙也加(大気海洋物理学・気候力学コース)
「極域オゾンと中高緯度渦熱フラックスの線形関係に関する考察」

< 20 分 休 憩 >

●座長: 深町 康(大気海洋物理学・気候力学コース准教授)

- 15:10-15:30 中島 正寛(大気海洋物理学・気候力学コース)
「格子ボルツマン法を用いた接地境界層乱流の解析」
- 15:30-15:50 石井 義人(大気海洋物理学・気候力学コース)
「1.5層浅水モデルを用いた海洋子午面循環に関する研究」
- 15:50-16:10 丸山 亜伊莉(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「鉱物組成を用いた完新世における別府湾への陸源碎屑物の供給源及び運搬量の変動復元」
- 16:10-16:30 周 丹峰(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「Diagnosis of nitrogen cycle in rivers at Hokkaido referring to nitrate dual isotopes」
(硝酸塩二重同位体を用いた北海道における河川の窒素循環の診断)

【第2日目】平成30年2月9日(金)

●座長:三寺 史夫(大気海洋物理学・気候力学コース教授)

- 9:30— 9:50 浅地 泉(雪氷・寒冷圏科学コース)
「グリーンランド北西部 Bowdoin 氷河における末端位置の変動と海底地形の関係」
- 9:50—10:10 齋藤 奏磨(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「東シベリアタイガ林における異常気象が炭素・窒素循環に及ぼす影響」
- 10:10—10:30 瀬戸口 彩(大気海洋物理学・気候力学コース)
「過去40年における南極コスモノートポリニヤの平均像と変動」

< 20分休憩 >

●座長:山本 正伸(大気海洋化学・環境変遷学コース准教授)

- 10:50—11:10 柴野 雄介(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「オホーツク海の海水と生物生産 ～海水融解による鉄の供給プロセスと植物プランクトンの成長～」
- 11:10—11:30 山崎 玲寿(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「High precision measurement of oceanic carbon system and estimation of pH distribution in the western North Pacific」
(高精度炭酸系データを用いた西部北太平洋海域のpH推定に関する研究)
- 11:30—11:50 加藤 和輝(雪氷・寒冷圏科学コース)
「森林下の積雪表面における夜間熱環境の熱収支的考察」
- 11:50—12:10 松下 侑未(大気海洋物理学・気候力学コース)
「大規模アンサンブルデータを用いた日本周辺における台風通過頻度の将来変化に関する要因解析」

< お昼休み 12:10—13:30 >

●座長:渡辺 力(雪氷・寒冷圏科学コース教授)

13:30-13:50 小野 貴司(大気海洋物理学・気候力学コース)

「熱帯での観測データに基づいた雲粒子ゾンデ CPS の検証」

13:50-14:10 濱口 萌愛(大気海洋物理学・気候力学コース)

「ケープダンレー底層水の流出経路の推定」

14:10-14:30 劉 陽(大気海洋物理学・気候力学コース)

「ウェッデル海陸棚域における水温・塩分の長期変動」

14:30-14:50 植木 聡明(大気海洋物理学・気候力学コース)

「温暖化による海氷減少および海面水温変化が中緯度ジェットに与える影響」